

三条教区通信

第 53 号

発行日 2011年11月1日
 発行者 三条教務所長 鷲尾 幸雄
 発行所 真宗大谷派三条教務所
 〒955-0071 三条市本町 2-1-57
 E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
 URL: <http://www.gobosama.net>

★本通信は上記 URL からご覧いただけます。

今月の法語

〔法語カレンダーより〕

しん ぐぜい ぶつじ た
 心を弘誓の仏地に樹て
 ねん なんじ ほうかい なが
 念を難思の法海に流す

『教行信証』『化身土巻』真宗聖典 400 頁

本山御正当報恩講



2011 年	
讃仰音楽法要	11月19日(土)・20日(日)
御正当報恩講	11月21日(月)～11月28日(月)
御本尊動座式	11月29日(火)

三条教区では10団体362名の方々から団体参拝のお申し込みをいただきました。

本山の申込状況では、24日、25日、27日及び29日の申し込みが比較的多く、特に28日結願日中には、既に御影堂の許容量を超える人数の申し込みがあるとのこと。お参りを予定されている方々は、混雑にご留意くださいますようお願いいたします。

なお、各教務所員は次の日程で本山へ加勢に参ります(加田岡・史陀19～23日、結城24～28日、五辻24～29日)。

【真宗本廟両堂等御修復のスケジュール】

阿弥陀堂工事 2012年1月着工～2015年末竣工予定
 御影堂門工事 2013年1月着工～2015年末竣工予定
 御本尊還座式 2016年春頃予定
 御修復事業完了奉告法要 2016年春頃予定

教区御遠忌検討委員会のご報告

2011年10月12日、第1回三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌検討委員会が開催され、委員長に小林光紀氏(教区会議長12組浄照寺)、副委員長に土屋隆氏(教区門徒会長14組了元寺)が選任され、9名(2名欠席)の僧侶・門徒の委員により協議が行われました。

各委員からは、過去の蓮如上人五百回お待ち受け大会及び近年の宗祖お待ち受け法要を省みながら意見が出され、御遠忌が組や寺院に広く浸透することを目指した形での検討の進め方が選択されました。

その方針により、このたび、各寺院住職・教会主管者及び正副組門徒会長の方々宛に、「三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌に関するアンケート」をお送りさせていただきました。どうか皆様のご意見をお聞かせいただきますようご協力をお願いします。

東北地方太平洋沖地震三条教区救援金

皆様にご協力いただいております救援金について、10月26日現在、11,200,829円お預かりしております。

ご報告いたしますとともに、お見舞いとご協力の御礼を申し上げます。

研修会のご案内

- 第31回法灯の集い 開催案内既送
- ◆日 時 2011年12月5日(月)～6日(火)
 - ◆会 場 割烹の宿 湖畔
 - ◆講 師 今泉 温資 氏(往生人舎主宰)
 - ◆講 題 「悪を転じ徳となす正智一被災地にぬくもりあれ、希望あれー」

- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波まで)
〔主催:三条教区推進員連絡協議会〕

■ 秋安居

開催案内同封

- ◆日時 2011年12月13日(火)～14日(水)
 - ◆会場 三条教区同朋会館
 - ◆講師 名畑 崇 氏(本年度安居本講者)
 - ◆講題 『『教行信証』成立の背景—顕浄土方便化身土文類私考—』
 - ◆テキスト 『2011年度安居講録』(2500円)
 - ◆参加費 500円
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:森まで)
- ※事前学習会を10月26日(水)14時から教区同朋会館にて行います(持ち物:真宗聖典、安居講録)
〔主催:教学研究会部門〕

■ 長岡連組 育成員研修会のご案内

- ◆日時 2011年12月8日(木)
13:00 受付
13:30 開会式
14:00 講義(～17:00)
- ◆講師 佐野 明弘 氏(石川県 光闡坊)
- ◆会場 11組 浄願寺(長岡市王番田町)
- ◆主催 長岡連組企画委員会

教化委員会からのお知らせ

■「差別と真宗」交流学習会Ⅱ開催

<はじめに>

10月13日・14日、「原発事故と放射能」というテーマのもと、三条教区から17名の参加者で、1泊2日の交流学習会が開催されました。

会場は、福島県二本松市竹田にある真宗大谷派眞行寺様で、この度の原発事故があった福島第一原発から西へ直線で約55km離れたところに位置します。二本松市は避難対象区域外ですが放射線量の高い、所謂ホットスポットと呼ばれる地域です。

講師は眞行寺副住職、仙台仏青の会長の佐々木道範氏で、震災直後三条で避難生活をされ、その後現在まで被災地の支援活動に尽力されています。

<交流学習会>

到着してまず、三条仏青有志会を中心として三条教区内の皆様からお寄せ頂いた日用品、衣料品、米、野菜、水などをお渡ししました。眞行寺若坊守の佐々木りさんは、園の保護者やご門徒の方に配らせて頂きますと大変喜んでいらっしゃいました。

眞行寺境内には同朋幼稚園が併設しており、園庭では園児たちが元気いっぱい遊んでいました。一見する

と放射能の影響はないように見えてましたが、実は以前までは園児たちは外では一切遊ばず、境内の土や壁などを自分たちで除染し、時間を制限してやっと外で遊べるようになったとおっしゃっていました。

1日目はフィールドワークとして二本松市岳温泉にあります市民放射能測定室を見学させていただきました。この市民放射能測定室とは、佐々木氏が代表のNPO法人申請中であるTEAM二本松の活動で、二本松市とそこに暮らす子どもたちを守りたいという願いのもと、市民レベルの食品放射能測定が可能となる活動です。アパートの1階部分が貸店舗になっていて、4畳ほどの小さな部屋に、想像よりも小さな食品放射能測定器とパソコン・プリンタ、検査待ちの食品等が置かれていました。小さな測定器といっても重さ200kg、価格は500万円だそうです。市民放射能測定室の活動は始まったばかりで、その活動費、測定器代や維持費などは、わずかな検査費と有志の寄付金でやっと運営されており、皆様からの募金もお願いしたいとのことでした。

その後、夜は懇親会として同朋幼稚園の親子と一緒にバーベキューをしました。この夏、同朋幼稚園の園児を中心に北海道に一時避難保養した反省会も兼ねてということで、大勢の園児や親御さんに集まっていたいただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。



2日目は佐々木氏に講義をしていただき座談会を行いました。講義の中で佐々木氏は「2011.9.19 脱原発集会における福島の武藤類子さんのスピーチ」を取り上げられ、このスピーチが福島の今の声だとおっしゃっていました。武藤類子さんのスピーチは、すでにご存じの方もいらっしゃると思いますが、様々な支援をしてくださった方々への尊敬と感謝の言葉からはじまるとても感動的なスピーチです。中でも、福島で生活する放射能のストレスと、毎日迫られる様々な苦渋の決断、個々の意識の違いから生じる家族・人間関係の亀裂など、私たちの生活では思いもしなかった要因での苦悩と、その中でも希望を見出しそれに向かって行動し生きていく力強い決意がとても印象深かったです。

佐々木氏は、原発事故が起こった当初、文科省の緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム(SPEEDI)の予測をもっと早く公開していれば、また安全キャンペーンをするのではなく、もっと広範囲でせめて小さな子どもがいる家庭は避難して下さいと言っていただければ、少なくとも子どもたちの、放射性物質を体内に取り込む

ことによる、初期の内部被曝を防げたのではないかと悔やんでいらっしゃいました。

講義の後半では、人災と言われる原発事故で国の対応に対してはもちろん怒りがあるが、何より二本松の未来を担う子どもたちに対して申し訳ない気持ちでいっぱい、今まで原発に対して無関心だった自分の責任だからこそ、これからは私たちが子どもたちにとって安全な街づくりをせずにはいられない、とまとめられました。

<おわりに>

この度の交流学习会全体を通しての反省点として、原発事故と放射能による「差別問題」に関しては、時間的な制約もあり、なかなか深く掘り下げられなかった面もあったかと思えます。しかしながら座談会では、どんな差別があったのか、また福島出身であることで差別されるのではないかとといった不安の声など話し合われたようで、今後の課題として、原発事故と放射能による「差別問題」に関して引き続き学び、どんなことが差別につながるのか常に意識していかなければならないと思えます。

3. 11の大震災以後、大勢の方が何かせずにはいられないという思いで行動し、現在に至っております。こんにち私たちが必要とされることは、今一度助けを求める声に耳を傾け、人とつながり、注目し、忘れず、支えあって生きていくことで、ひいてはそれは私たち一人ひとりの未来をつくっていくことになるのではないのでしょうか。

「差別と真宗」共学研修会部門幹事 清水寛志

<募金のお願い>

TEAM二本松(NPO 法人設立認証申請中)
 市民放射能測定室
 〒964-0074 福島県二本松市岳温泉1-254-4
 1階3号室 TEAM二本松
 TEL: 080-3149-6942
 Email: team_nihonmatsu@yahoo.co.jp
 募金口座: ゆうちょ銀行【店番 828 普通 1469647 名義チームニホンマツ】

■ 長岡地区女性研修会報告

去る10月7日(金)、第13組の宮原善行寺さまをお借りして、長岡地区女性研修会が開催されました。

「韋提希に学ぶ～思いを超えた現実と観無量寿経の救い～」のテーマのもと、第20組最福寺前住職の里村専精先生を講師にお迎えし、男性を含めた40名余りが聴聞いたしました。



『仏説観無量寿経』「序分」の物語のような内容には、人間の問題が説かれていて、韋提希夫人は第三夫人であったことや、自分の子ども(阿闍世)に殺されそうになるという非常にショッキングな「親殺し」事件の当事者になっていくこと。王舎城には、今もなお訪れる人が絶えないこと等をうかがうと、改めて『仏説観無量寿経』が、時を超えて人間の苦悩に込められている經典であると強く感じました。

里村先生は、伝えたいことが、次々とあふれてくるのでしょうか。膨大な言葉で、中身の濃いお話を学問的にきちっとくださったと思いました。しかし、悲しいかな、私には難解なことも多く、その半分すら聞きとることはできなかったと思います。そのお粗末な私が、それでも何が残ったのかと、思い返してみますと、「発起序 厭苦縁」の中に出てくる「身は紫金色にして、百宝の蓮華に坐したまはり」の一行でした。お馴染みの蓮の華ですが、蓮華は一切衆生の苦悩を指しているというのです。紫金の仏が蓮華に上におられるというのは、一切衆生の苦悩にたって、衆生を我としておられるのだというのです。「如来の本願を本願たらしめるのは、苦悩する人間がいる。ということだ」という最近出会った一文を思い返したことです。

里村先生、次回もどうぞよろしくお願ひいたします。今度こそ居眠りしないように、聴聞したいと思います。

女性研修会部門 渡邊章子

教務所からのお知らせ

◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗派が1951年11月よりラジオ伝道として放送している「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きいただけます。

- テーマ 「今、いのちがあなたを生きている」
- 講師 10/30～12/10 藤場芳子氏(金沢教区)
(変更になる場合があります)

- 放送局 BSN新潟放送
*新潟県全域をカバー
・小出エリア 1026KHz
・中越エリア 1062KHz
・下越エリア 1116KHz
・塩沢エリア 1485KHz
・上越エリア 1530KHz

- 時間 毎週金曜日午前 5:00～5:10
- 提供 吉運堂様

◎教区行事予定表

2011年	
11/4(金)	松葉幼稚園報恩講
11/5(土)	～8日 三条別院報恩講 真宗学院生参拝
11/12(土)	真宗学院

11/14(月) 14:00 15:00	仏青会議 児童夏の集い総会 児連会議
11/15(火) 14:00	別院フォーラム執行部会議
11/16(水) 14:00	社会広報部会
11/19(土)	真宗学院 19組推進員養成講座
11/26(土)	真宗学院
12/2(金)	～4日 19組後期教習上山
12/3(土)	真宗学院
12/5(月)	～6日 法灯の集い
12/10(土)	真宗学院
12/13(火)	～14日 秋安居
12/15(木)	KANGYO primary school
12/16(金) 14:00	企画委員会
12/17(土)	真宗学院学年末試験
12/31(土) 23:45	大晦日 三条別院除夜の鐘
2012年	
1/1(日) 00:00	三条別院修正会
1/30(月)	園長設置者研修会
2/25(土)	～26日 真宗学院一泊研修会 保育講習会
2/9(木)	組門徒会員選定期間終了
3/9(金)	組門徒会員任期満了
3/10(土)	～26日 教区門徒会員選定期間
3/31(土)	教区門徒会員・教区監事(常任委員会選出)任期満了
4/30(月)	参議会議員任期満了
5/15(火)	三条祭(別院付近交通規制あり)
5/25(金)	新潟地区坊守研修会
6/2(土)	保育大会
6/20(水)	～21日 東北連区坊守研修会

*行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれています。また、日程は変更される場合があります。

駐在教導のつづやき

～森 恵成～

◆早いモノでもう11月です。このつづやきが目にとまる(?)頃はもしかしたら三条別院の報恩講はもう終わっているかもしれません。が、昨日(10月25日)は報恩講の準備のため、「おみがき奉仕研修」が行われ、別院の有志会の方々や、さらには教区内各地から推進員の皆さん総勢七十人近くの方々が集まり賑やかに本堂仏具のおみがき、本堂・旧御堂・書院などの清掃、雨の中屋外の清掃と丸1日の研修でした。ほんのちょっとでしたがおみがきのお手伝いをさせてもらいました◆その中でのお楽しみの一つは、これまで養成講座や、教区推進員教習で一緒した皆さんとまたお会いして近況をお聞きすること。これがささやかな楽しみです(ちょっとキザかな)◆ある座談会の会話の中で気になった言葉…先日、研修会があり、講師の講義の後いくつかの班に分かれて座談会が行われ、そのなかでの会話で発せられた言葉、

「…みんなそう言っている」とか、「…みんなそう思っている」とか、この言葉が出ると会話が途切れてしまったり、座談会の空気が冷めてしまうような、さらには反論を言わせないぞというような相手や周囲を威圧するような言葉にさえ感じてしまう。皆さんはどうでしょうか?◆この座談会の様子を見、言葉を聞きながら気がつかされたこと…「その言葉を言われたら話が續かないでしょ」と、自分を、言われる側の立場に立てていること。そう言う立場に身を置いて考えていることに気がつくと、★逆の立場に立って言葉を発している我が身がボンヤリと見えてきた。困ったモノです◆さて、最後に、2011年もあと2ヶ月ほど、御正當報恩講が間もなくという時節になってきました、私たちにとって1年が報恩講に始まり報恩講に終わると言われる、そういう意味では、これから私の初めて経験する1年に襟を正して向かっていくことにしたいです。(えらばず)

※来月より「駐在教導のつづやき」は「所員のささやき」と合併させていただくことにいたしました。駐在教導のお二人には引き続き「所員のささやき」の中でつづやいていただきますので、お楽しみに。

所員のささやき ～五辻広大～

「如来大悲の恩徳は」(『正像末和讃』)の御和讃の後に「仏智疑惑和讃」が23首もあるということ。「恩徳讃で終わればスッキリするのに…、なんで恩徳讃の後にわざわざ疑惑和讃があるんやろう」と、当時、お勤めしながら何かすごい違和感を抱いていたことを思い出した▼そんな時、ある先輩から言われた何気ない一言が印象深い。「報恩講は御満座で終わりちゃうねん。翌日の晨朝の“お浚え勤行”までが報恩講やねん。そこでお勤めするのが仏智疑惑和讃!恩徳讃の後に仏智疑惑和讃やで?疑惑の心と共にある…。カッコイイやろ(^-^)」▼つまり、恩徳讃でハッピーエンドじゃないってこと。恩徳讃をいただくっていうことは、同時に仏智を疑惑している自分に出あうってことなのかなと思った▼疑心を抱いたままお念仏申している、実はこれこそが凡夫の姿だと思う。仏智疑惑和讃は、そんな自分をハッとさせ戒めてくれるような御和讃。また、“お浚え勤行”は、「信心の溝を浚えて弥陀の法水を流せ」(『御文』2帖目1通)というような勤行であるような気がした▼お莊嚴も取り払い、御満座とは一変、静まり返った御堂での“お浚え勤行”は、何ともいえない一座である。▼——ある先生曰く、「もし、お念仏申すことに違和感が芽生えたり疑心があるという人がいたら、そのまま違和感をかかえ疑いの心をもったまま、お念仏を申してください。」と▼仏智疑惑和讃の一首に「信心のひとにおとらじと 疑心自力の行者も 如来大悲の恩を知り 称名念仏はげむべし」とある。自力の称名でいいから励みなさいという御和讃。疑心交じり愚痴交じりのお念仏の中にも仏の大悲、如来の大悲があるという。そこに気づくのは後。気づいてからお念仏申すのではなく、お念仏申した後に気づくということもある。なんとなく、疑いこそが出发点なんじゃないかと思った▼「真宗門徒の一年は報恩講に始まり報恩講に終わる」。もうすぐ報恩講。仏智疑惑の一年がまた「恥」まる。

新潟親鸞学会からのお知らせ

親鸞聖人 750 回ご遠忌記念事業

「親鸞となむの大地展」3地区役員合同会議レポート

9月27日(火) 3時から新潟グランドホテルで「親鸞となむの大地展」新潟・長岡・上越3地区の役員7名に本部事務局員8名も加わって、「親鸞となむの大地展」3地区役員合同会議が開催されました。

この会は、新潟親鸞学会が親鸞聖人 750 回ご遠忌を記念して、2014(平成26年)4月26日(土)～6月8日(日)に 県立歴史博物館(予定)で開く特別展「親鸞となむの大地展—越後と佐渡の精神的風土—」を準備するため、共通認識を深めようと企画されました。

経過報告に続いて、会則の一部改正が図られ、本部事務局員の担当内容や、今後の行動計画について意見が交わされました。

なお、実行委員会の会則は以下のとおりです。

「親鸞となむの大地展」実行委員会会則

第1条(名称) この会を「親鸞となむの大地展」実行委員会という。

第2条(目的) この会は、新潟親鸞学会が親鸞聖人750回ご遠忌記念事業として、2014年(平成26年)4月26日(土)～6月8日(日)に新潟県立歴史博物館で開催予定の「親鸞となむの大地展—越後と佐渡の精神的風土—」並びにその関連事業を企画実施することを目的とする。

第3条(事業) この会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

一、企画展「親鸞となむの大地展—越後と佐渡の精神的風土—」の開催

二、オープンイベント(仮称)「なむ街道25日間の旅」

三、講演会、特別講座

四、資料の刊行及び頒布

五、その他関連事業

第4条(委員) この会の委員は、この会の目的に賛同する者とする。

第5条(役員) この会に次の役員をおく。

実行委員長	1名
副実行委員長	3名
本部事務局長	1名
本部副事務局長	4名
監事	2名

第6条(委員の任期) 委員の任期は事業の完了時期とする。

第7条(実行委員長) 実行委員長は会を代表する。

副実行委員長は実行委員長を補佐し、欠席のときはその職務を遂行する。

第8条(評議会) この会の諮問機関として評議会を設け、評議員をおく。

第9条(監事) 監事は会計を監査する。

第10条(事務局) この会を円滑に運営するために事務局を設け、事務局員をおく。

事務局長は事務局を統括し、事務局には会計・企画事業・渉外広報その他必要に応じて担当をおく。

第11条(所在地) この会の所在地は事務局の住所とする。

第12条(財源) この会の財源は、寄付金その他をもって当てる。

附則 ①この事業を推進するために、新潟・長岡・上越に地区実行委員会を設ける。但し、新潟地区実行委員会は本部実行委員会が兼任する。

②地区実行委員会には地区実行委員長・地区副実行委員長・地区事務局長をおく。

新潟親鸞学会事務局 富沢慶栄

【親鸞学会入会の申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局／超願寺内(〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 ☎025-222-2820

新潟親鸞学会デスク：

<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

三条仏青有志会ボランティア

ご協力の御礼

先般、教区通信並びに有志会メールにてお願いした支援物資並びに支援物資購入資金は、おかげさまで、水、米、日用消耗品、衣料、ホッカイロ等、多くのご協力を頂きました。

10月13～14日の「差別と真宗」研修会部門の福島での学習会の際に、バス、乗用車等に積み込み、ひとまず二本松の佐々木氏のお寺(真行寺様)に届けさせて頂きました。また、そこから仙台の現地復興支援センターにも一部お届けし、福島や宮城、岩手等の被災者の方に届くようお願い致しました。



皆様のご協力にお礼申し上げますと共に、未だ困難な状況下にある被災地の方々への「顔の見える支援」を続けていきたいと考えております。今後も被災地と支援活動に心を寄せて頂き、ご協力頂きますよう、よろしくお願ひ致します。

三条仏青有志会 巨谷 学

【三条仏青有志会】

連絡係 藤井信彰(14組長楽寺) shinsho@nct9.ne.jp